

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

2021年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項による。

## 2 招集について

- ①第3ゲート（1500mスタート地点後方）に招集所を設置する。競技者は招集開始時刻に集合し、できる限り三密状態を避けること。
- ②円盤投・ハンマー投は第2競技場にて現地招集とする。
- ③招集開始及び完了時刻は下記のとおりであるが、詳細は競技日程に記載する。
- ④招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。  
※第2競技場からスタジアムまでの距離が遠いので、競技者は時間に余裕を持って行動すること。

種目	招集開始	招集完了
トラック種目	20分前	15分前
走高跳・走幅跳・三段跳	40分前	30分前
棒高跳	1時間40分前	1時間30分前
砲丸投・円盤投・ハンマー投	40分前	30分前
やり投	50分前	40分前

- ⑤招集開始時刻に招集所で待機し、招集所の役員（競技者係）からの最終点呼を受けること。  
その際アスリートビブス（ナンバーカード）、競技用靴、商標等の点検を受けること。
- ⑥代理人による最終確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は招集開始時刻までに、その旨を招集所競技者係に申し出る。

## 3 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ①アスリートビブス（ナンバーカード）は胸と背に1枚ずつ確実につけること。  
女子選手のセパレートタイプのユニフォームについては、ナンバーが審判から見えるように4ヶ所で確実に留めること。  
ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背に1枚つけるだけでよい。
- ②トラック種目では、腰ナンバーを右腰後方につけること。  
腰ナンバーは招集所にて配布するので、競技者各自が持ち出し、競技終了後は各自の責任において持ち帰り、処分すること。
- ③ランニングシャツの裾を確実にランニングパンツの中に入れ、腰ナンバーが見えるようにすること。

## 4 競技場で使用する競技用靴について

- ①スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。  
いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。
- ②靴底の厚さは以下のとおりとする。  
800m未満のトラック種目：20mm以内  
800m以上のトラック種目：25mm以内 ※ 5000mWは40mm以内
- ③トラック種目に出場する競技者は、招集所にて靴底の厚さの確認を受ける。  
フィールド種目に出場する競技者の靴底の厚さについては、確認を実施しない。  
（日本陸連の指針に則った対応とする。ただしWAランキングには反映されない。）

## 5 棄権について

出場種目を棄権する場合は招集開始 15 分前までに、棄権する旨を招集所競技者係に申し出る。招集完了時刻に競技者が競技会場に来ておらず、同一時刻に他種目に出場する旨の連絡もない場合は、棄権したものと見なす。

## 6 練習について

- ①練習会場は第 2 陸上競技場を使用しとする。スタジアム周辺での練習は禁止する。
- ②第 2 陸上競技場の使用区分・時間帯については別途、栃木陸協 Web サイトに掲載する。
- ③練習は引率責任者の監督のもと、時間と場所を厳守し、競技役員の指示に従って行う。
- ④投てき練習については、競技場所での競技前の練習試技のみとし、それ以外は認めない。
- ⑤第 2 競技場内で投てき競技が実施されている場合、ホームストレートは全面立入禁止とする。
- ⑥第 2 競技場の雨天走路はジョギングと体操のみ使用を許可する。一方通行で使用する事。
- ⑦練習に際しては競技役員の指示に従って安全に練習すること。
- ⑧第 2 競技場の開放時間・場所については、栃木陸協 Web サイト等でも別途提示する。
- ⑨スタジアム 1 階および 2 階の外周での練習は不可とする。  
総合運動公園内園路はジョギング程度なら可とする。(ただし集団での走行、リレーのバトンパスをしながらのジョギング等は禁止とする。)  
選手・関係者及び公園の一般利用者の安全確保のため、ジョギング以外の練習は禁止する。(メディシンボール投げやハードルを用いた練習等も禁止。)
- ⑩第 2 競技場の利用時間は 17 時頃までとする。
- ⑪スタジアム内の雨天練習場はジョギングと体操のみ許可する。一方通行で使用する事。

## 7 競技者の入退場について

- ①スタジアム内競技場所への出入口は、第 3 ゲート (1500m スタート地点付近) のみとする。
- ②スタジアム内競技場所への出入りは競技者のみ許可する。付添人・指導者等の入場は不可。
- ③競技者は第 3 ゲートの係員にアスリートビブス (ナンバーカード) または JAAF 登録会員証を提示し、入場の許可を得ること。
- ④トラック競技に出場する競技者は、競技開始前にスタート地点付近に荷物を置き、競技終了後は競技の妨げとならないよう、荷物を取りに行くこと。荷物をとった後も競技の妨げとならないよう、第 3 ゲートから退場すること。
- ⑤フィールド競技者も他の競技の妨げとならないよう、係員の指示に従って入退場すること。

## 8 トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順等について

- ①トラック競技の予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示すので、審判員の指示に従うこと。
- ②トラック競技の決勝の走路順は、主催者が抽選し Web サイト等に掲示する。
- ③タイムレース (TR) の決勝進出者はタイム順に 8 人とする。
- ④トラック競技のプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たときは、下記の方法で決定する。

100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mR の同タイム者 (チーム) については、レーンに余裕がある限り次のラウンドに進出させる。レーンに余裕がない場合は、同タイム者 (チーム) または代理人によって抽選する。

## 9 トラック競技について

- ①WA 競技規則 TR16 により、不正スタートをした競技者は 1 回で失格とする。
- ②スタート時の不適切行為については、WA 競技規則 TR16 を適用する。

- ③男子 5000m・女子 3000m 競技で人数が多い場合には、グループスタートとする。
- ④競技運営上、男女 5000mW 競技において、スタートから 35 分で最終周回に入っていない選手は、競技終了とする。
- ⑤リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を各ラウンド第 1 組の招集完了時刻の 1 時間前までに T I C に提出する。
- ⑥リレー競技に出場するチームは、原則として同一ユニフォームで参加しなければならない。

## 10 跳躍競技（高さ・踏切板の距離）について

（※審判長の判断で、変更することもある。）

種目		練習	試 技
走高跳	男子	1.55	1.60～1.65～1.70～1.75～1.80～1.85～1.90～1.95・以後 3cm
		1.80	
	女子	1.30	1.35～1.40～1.45～1.50～1.55・以後 3cm
		1.50	
棒高跳	男子	2.50	2.60～2.80～3.00～3.10～3.20～3.30・以後 10cm (5cm)
		3.50	
		4.00	
	女子	1.70	1.80～2.00～2.10・以後 10cm (5cm)
		2.20	

- ①上記以後の高さについては、跳躍審判長の指示による。
- ②第 1 位決定のバーの上げ下げは走高跳 2 cm、棒高跳 5 cm とする。
- ③三段跳びの踏切位置は、男子 11m、女子 9m とする。

## 11 競技用器具について

- ①競技に使用する用器具は、検査を受け合格したものについてのみ使用できる。ポールの検査は、招集後現地にて行う。投てき器具（主にやり）の検査については、招集開始 1 時間前までに第 4 ゲート外側（200m スタート付近）で検査受付を行う。
- ②検査で合格したやりについては、主催者にて預かり、主催者のものとして使用する。
- ③棒高跳・投擲競技における滑り止め（炭酸マグネシウム）は、本競技会では準備しない。
- ④滑り止めを使う場合は、競技者が各自持参すること。なお、他の競技者と共有しないこと。

## 12 入賞・得点について

- ①各種目入賞は第 8 位までとする。
- ②各種目の得点は、1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点、4 位 5 点、5 位 4 点、6 位 3 点、7 位 2 点、8 位 1 点とする。
- ③男子及び女子別の合計得点によって、学校順位を決定する。  
（同点の場合は上位種目の多い学校を上位とする。）

## 13 表彰について

- ①学校対校男女別第 8 位まで賞状を授与する。賞状は T I C にて配布する。
- ②種目別第 3 位までを授与する。賞状は T I C にて配布する。

## 14 抗議について

WA 競技規則 TR8 による。

## 15 助力について

- ①競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出ること。
- ②ビデオ装置、音楽プレーヤー、トランシーバー、携帯電話、スマートフォン、その他の電子機器を競技場内に持ち込んで서는ならない。
- ③助言または映像機器の視聴は、競技運営並びに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、コーチングエリアに限り認める。ただし、映像機器類の手渡しや吊り下げ行為は認めない。

## 16 警告について

不当な行為をした競技者には、当該審判長から警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことで競技者に知らされる。

## 17 プログラム訂正について

プログラムに訂正がある場合は、大会第1日目の競技開始1時間前までに、T I Cに申し出る。

## 18 補助員協力について

参加校の補助員は、競技開始1時間前までにT I Cにて受付を行う。

## 19 関東選抜新人大会について

- ①本大会の各種目3位（3人・3チーム、女子3000mSCは除く）まで、関東選抜新人大会の出場権を得る。
- ②トラック競技で、第3位同タイム者（チーム）が出た場合は、同タイム者（チーム）または代理人による抽選で出場権を決定する。但し、1/1000秒以上の差があれば着差ありとする。
- ③関東選抜新人大会の出場権獲得者が出場を辞退した場合は、次点順位者が出場権を得る。

## 20 その他

- ①スタジアムおよび第2競技場の使用時間は7:30~17:30までとする。
- ②T I C (Technical Information Center) をスタジアム2階Aゲート内に設置する。  
T I Cでは、参加団体受付、オーダー用紙の取扱い、競技に関する抗議の受付、プログラム訂正の受付、遺失物保管などの業務を行う。
- ③競技中の傷病などについては、主催者が応急手当をするが、以後の責任は負わない。
- ④各チームのスタジアム内待機場所については、栃木陸上競技協会が指定した場所とする。  
第2競技場の2Fコンコースは各団体が譲り合って使用すること。競技場外の公園敷地にテントを設置することは一切禁止する。  
各チームベンチとして、雨天練習場・更衣室・ダッグアウト等を占領してはならない。
- ⑤スタジアムにおいて、横断幕を設置する場合は、メインスタンド以外の観客席「手すり」を使用する。なお、のぼり旗の設置は禁止する。【ガムテープ使用禁止】
- ⑥スタジアム内1Fのトイレは、100mスタート付近の正面スタンド内トイレを使用すること。  
出入りについては100mスタート付近からの出入りに限定する。
- ⑦更衣室については、男女ともスタジアム2Fトイレ内の更衣スペース等を使用する。  
また第2競技場の更衣室も使用可とする。ただし更衣室内に長時間滞在しないこと。
- ⑧スタジアム2FコンコースのA2ゲート及びC1ゲートに氷捨て場を設置する。アイシングなどで余った氷は氷捨て場に捨てること。またWCや公園敷地内等に氷を捨てないこと。
- ⑨第2競技場の会議室を整理運動後の休憩場所として開放する。
- ⑩各競技の結果はWeb上の速報サイトに掲載する。
- ⑪競技中に発雷等で天候が悪化した場合は、その時点で競技会を中止する場合もある。

**⑫各競技の開始時刻や招集時刻については、プログラムに記載されている競技日程が正式なものである。栃木陸協の Web 速報サイトに記載する競技開始時刻や招集開始時刻は、コンピュータシステムの不具合により、誤った表記をする場合がある。競技日程等については、必ずプログラムに記載されている事項を確認すること。**

## 21 災害時の避難場所

会場責任者の判断により避難の放送が入るので、避難誘導係の指示に従って落ち着いて行動すること。雷発生時などの非常時には、競技役員の指示にて屋内に避難する。

## 22 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する事項

- ①新型コロナウイルス感染拡大状況により、参加申込み完了後に競技会を中止とする場合もある。日本政府または各都道府県による緊急事態宣言が発令した場合などは、県外在住の参加者に対して参加を断る場合もある。その際は栃木陸協 Web サイト等で通知する。  
また、競技中に発雷等で天候が悪化した場合は、その時点で競技会を中止する場合もある。
- ②大会直前に発熱等の症状が出た者は、大会参加を控えること。
- ③大会に参加する全ての来場者（競技者、指導者、引率者、マネージャーなど）に対し、別紙「健康確認シート」の提出を義務づける。（日本陸連ガイドランスに則った措置とする。）
- ④競技会開催中に体調の異変を感じた場合は、速やかに代表者や顧問教諭に連絡し、主催者の指示を受けること。
- ⑤新型コロナウイルス感染防止対応として、無観客での競技会開催とする。競技者の家族、友人・知人などの観客席への立ち入りを禁止する。
- ⑥練習会場、待機場所、更衣室等において極力三密を回避し、手指等の消毒を随時行う。  
全ての参加者は運動時以外は極力マスク等を着用する。
- ⑦中高生が学校所属ではなくクラブ所属として参加する場合、クラブ責任者が競技者を引率し、保護者の観客席への立ち入りは禁止する。
- ⑧運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。ゴミは自己責任で持ち帰る。
- ⑨発声を伴う応援（集団応援も含む）は禁止する。
- ⑩その他、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対応については、栃木陸協 Web サイト等で周知する。